年 間 研 修 計 画

	目標	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新入職者	・病院組織の機能を知り、職員として自覚をもつことができる ・専門職業人として、生命倫理と人間の尊厳について考えることができる ・部署での自己の位置づけを知り、役割が果たせる ・職場適応へのフォローアップ ・必要な知識・技術を習得し、看護実できる	病院組織・就業規則・病院の現状 看護部の概要（組織・方針・教育等） 社会人・専門職業人としての基本的態 看護師の倫理綱領 夜勤勤務の理解 チームメンバーとしての役割 看護記録の必要性の理解 基準に沿った電子カルテの入力方法 感染予防の理解と標準予防策 褥瘡予防の理解 医療安全の理解 基本的な看護技術	入職時 オリエンテーション 看護師としての身だしなみ・マナー 夜間患者体験 フォローアップ研修 看護記録の概要と 電子カルテ（入職時） 標準予防策 発生要因・リスク評価のツール・予防方法 インシデントレポートについて 防災・医療廃棄物の取り扱い 薬剤の取り扱い 採血・注射・血糖測定 ヘルスアセスメント 吸引・吸入 バルンカテーテル	夜勤業務体験 （カルガモ研修） 看護診断 看護必要度 救急看護（BLS）	ローテンション研修 多重課題シュミレーション研修 輸液ポンプ・シリンジポン 麻薬・抗生剤 経管栄養 心電図 移送・搬送	レポート・復命書の書き方 人工呼吸器装着中の看護	看護部長面接 ME機器の取り扱い（人工呼吸器・除細動器） インスリン製剤		血液製剤 終末期看護・死後処置					
		全体研修			感染対策・医療安全				看護必要度フォローアップ		感染対策・医療安全			
		ラダー申請・面接・評価	申請	師長面接（目標面接）					師長面接（中間評価）				師長面接	認定審査
ラダーⅠ	・社会人・組織人としての自覚を持って行動できる ・医療の動向や病院の経営に関心を持つ ・専門職業人として、生命倫理と人間の尊厳について考えることができる ・チームメンバーとしての役割行動をとることができる ・看護過程の展開ができる	ケーススタディ（提出課題）	キャリアラダーの概要 DPC・クリニカルパス フィジカルアセスメント	感染対策 看護記録 （記録の基本）	褥瘡予防 NST 看護診断	医療安全 ケーススタディの書き方		急変時対応			課題提出		課題発表	
ラダーⅡ	・専門職業人として、生命倫理と人間の尊厳に基いて行動できる ・医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、方針に協力する ・自立した看護実践ができる ・新人や学生の指導ができる	自己の実践の振り返り（課題レポート） （看護倫理・リーダーシップ）		褥瘡予防 NST	看護研究（入門）	看護記録（看護が見える記録）	看護研究（基礎）	感染対策	急変時対応 医療安全 看護研究（実践）	看護倫理 リーダー研修	実習指導 課題提出		リーダーフォローアップ	
ラダーⅢ	・自らが倫理的感性を磨き、必要な関係者と連携し行動できる ・主体的に後輩の（看護師・学生）指導ができる ・役割モデルとして看護実践できる ・医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、方針に協力する ・看護部の方針に基づいた部署運営関する企画に自己の役割を踏まえて主体的に参加する	部署・院内研修の担当（課題） 業務改善・小集団活動（課題） ・自らがリーダーシップを発揮し目的達成へグループメンバーを動かす	医療経済の動き	看護記録（監査）	リーダー研修			リーダーフォローアップ	医療安全 急変時対応			課題提出		
ラダーⅣ	・患者の生命や人権を尊重できる看護師を育成できる ・看護の質を向上させるための変革的な行動がとれる ・部署における教育的なかかわりができる ・創造的な看護実践ができる ・看護部門の方針に基いた部署目標達成のために、活動を推進できる ・医療経済を理解し、積極的に職場・病院の変革に参画する													